

## 逗子市の未来に貢献を！

公明党 高野 典子 議員

市民との対話と協働・市民自治システムの方向性！

問 市民意見を公平に満遍なく聞くにはどうするのか伺いたい。また、市が既に取り組んでいる、情報公開制度、市民参加条例や住民投票条例を更に制度的に発展させるのか、制度そのものを見直しているのか伺いたい。

市長 土曜日の市政相談や市民との対話集会等様々な機会をとらえ市民の声を聞く。また、市民参加条例が昨年制定され、市民参加制度審査会も設置されているので、市民からの不服申し立て等担保されている。これをしっかり機能させ、活用して行政の政策決定や事業執行に当たっては市民が参加し、共にまちづくりを進める環境を作っていきたい。

問 50年かけて逗子市をバリアリーのまちにするということだが、構想についてどのように考えているのか伺いたい。

市長 基本的には、総合計画の基本計画、あるいは基本構想という部分をとらえる中で、着実にバリアフリーという観点も生かしながら計画化していき、50年ということでは長いスパンで物事を考えるべきだという意味であり、かつて初代の山田俊介市長も下水道を50年計画で作ったということとなく、必要ということと結果として半世紀近くかかって完成したということである。これからは、そういった視点を大切にしながら計画の中に反映し、着実にまちづく

りを進めていきたい。  
。まちづくりは人づくり、  
ます市長が人材に！

問 前市長が取り組んだ職員半減化構想に対し見直すのか、今までとおり進めるのか伺いたい。更に、非常勤職員の能力を高めるための抜本的な制度改革について伺いたい。

市長 財政的には人件費の圧縮に寄与した部分は評価している。今後は、今ある体制をいかに強化するかという観点から非常勤職員の制度改革については、市民が行政サービスを受けるに当たって満足いただける体制、正規職員採用への道を開く、処遇の制度化及び任期付き職員の制度も取り入れながら、より適材適所に配置する体制づくりを進めていきたい。

※この他に、市長の政治理念、池子問題、総合的病院問題についての質問がありました。